

国際ロータリー第2730地区 指宿ロータリークラブ週報



2019-2020年度

- 事務所/鹿児島県指宿市十二町3755 指宿いわさきホテル内
 - 例会場/指宿いわさきホテル
- 会長/竹崎 拓也 幹事/梅垣晃一

☎0993-22-3088/FAX0993-22-6760
E-mail ibusuki2730@po4.synapse.ne.jp

第2714回例会		令和2年 6月2日 (火)	
ロータリーソング	君が代・奉仕の理想	会務報告	幹事 梅垣晃一
唱和	四つのテスト	卓話	
会長挨拶	竹崎 拓也	委員会報告	出席報告・その他
ゲスト ビジター 紹介			

次週予告
令和2年 6月16日 (火)
12:30~
場所:指宿総合体育館

ロータリー親睦活動月間

第2713回例会記録 (5月26日)				第2711回 (4月14日)			
出席報告	当日出席者	会員数 28名 出席義務 28名	(欠席者) ◎伊地知・小園・桑波田・新宮領・下温湯・竹崎・田之上・玉城・坪井・永吉・野田・橋口 満留・湯徳・吉利・米永	前々回の訂正	前々回出席率	53.57%	(メイクアップ者) ◎今林・中園・前之園
		出席数 12名			訂正出席数	18名	
		出席率 42.85%			訂正出席率	64.28%	
	ゲストビジター						
卓話							

<奉仕の理想>	<四つのテスト>	<ロータリークラブの目的>
奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の生業 望むは世界の久遠に平和 めぐる歯車いや輝きて 永久に栄えよ われらのロータリー	言行はこれに照らしてから 一. 真実かどうか 一. みんなに公平か 一. 好意と友情をふかめるか 一. みんなのためになるかどうか	本クラブの目的は「ロータリーの目的」の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである

《 会務報告 》

- ◇ ロータリーアン誌・月信6月号が届きました。
- ◇ 地区事務所より7/18広報・公共イメージ部門クラブ委員会議のご案内が届きました。
- ◇ 西部グループ佐藤ガバナー補佐より新旧会長・幹事会の案内が届きました。
- ◇ 伊集院RCより4月号・5月号の週報が届きました。
- ◇ 指宿地区防犯協会・指宿港海岸保全推進協議会の定期総会の書面議決書が届きました。

連絡事項

- ◆ ポリス・ハリス・フェロー寄付金集金しています。
- ◆ 伊地知様からの香典返しが届きました。

6月誕生日

吉利 勉 S27.6.8 (68歳)
米永 貞嗣 S40.6.2 (54歳)
伊地知 広孝 S31.6.29 (62歳)
満留 亮太 S44.6.21 (50歳)



6月結婚記念日

堀之内 茂♥悦子 S50.6.8
前之園盛二♥みゆき S63.6.26
伊地知広孝♥みゆき S60.6.15
坪井 詳忠♥葉子 S59.6.3
桑波田真樹♥樹里 H19.6.28



ニコニコBOX



第2713回例会発表分

誕生日祝い5000円・結婚祝い2000円
遅刻早退5000円・自社宣伝1000円以上
無断欠席10000円・その他随意

※	今林 重夫	・前例会欠席でお久しぶりの例会です。コロナ騒ぎで大変です。 ・税の面では納期延長を認めるなど応援の気持ち(?)が感じられます。
※	梅垣 晃一	・この度ホームページが出来上がりました。今年度の幹事の仕事の一つが完了し、ほっとしています ・次年度に向けて引き続きよろしくご指導をお願い申し上げます。
※	徳永 博光	・結婚記念・誕生日祝い頂きました。有難うございます。

※ 堀之内 茂	<ul style="list-style-type: none"> ・母の葬儀に際し大変お世話になりました。皆様の御陰様で父の元へ送ってやれました。 ・有難うございました。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今回〒29,000

累計〒508,000

5月誕生日・結婚記念日(徳永君)



「ロータリーフェイスシールド」贈呈式
 日時：令和2年5月28日 場所：鹿児島県医師会館



<週の情報誌>

第2713回

令和2年5月26日(火)

◆ 直前会長挨拶

皆さん。こんにちは。会長が欠席のため代理で挨拶します。最近ではコロナの影響により、家でユーチューブを良く見えています。私が仕事柄仏教のものが好きで釈迦が亡くなった時に56億7千万年後に弥勒菩薩が人類を救うと言われてると言われている。その56億7千万年というのは、解釈の仕方として56億7千万人であるという解釈がある。年ではなく人と言う解釈もある。そして人類が56億7千万人に達したのは、1995年ウィンドウズ95が始まった年。人類はすでにその時に救われる世界に入っているとされている。それは何かというとAI・コンピューターの世界それによって人類が救われる。そういう風に言われる方がいる。56億7千万という数字のことを「コロナ」ともいえる。コロナが発生した時に、人類の生活様式が変わって人類のレベルが上がって考え方が変わる。暮らしが救われるのではないかという解釈もある。そうかと言うと一方ではAIに問かけると人類の将来は滅亡だと回答される。人類のデータを細かく打ち込めば打ち込むほど滅亡になる。だから生活を変えていかないと人類は救われないのではないかなとそういう事をユーチューブを見ながら思いました。

◆ 委員会報告等

①堀之内君

先週は母の通夜・葬儀にご参列頂きまして誠に有難うございます。

②財団委員会(櫻井君)

ポールハリスフェローの件最大3万円後はクラブと考えています。今月中に宜しくお願い致します。

◆ その他

指宿RCの新規ホームページの件、プロジェクターにて説明する。市の観光名所の写真の取入れ希望があった。